

青森操車場跡地利用計画審議会組織会及び第1回会議 会議概要

1 開催日時 平成24年9月19日(水) 10:00～11:38

2 開催場所 ラ・プラス青い森 4階 ル・シエル

3 出席者 【委員】

猪原龍介、小川貢、木村精郎、工藤美智磨、後藤厚子、櫻田清光、
佐藤江里子、菅勝彦、須藤喜代行、種市勲、野澤正樹、福土讓、
三浦康久 以上13名〔欠席1名：森内忠良〕

【青森市】

市長(鹿内博)

【事務局】

都市整備部長(江崎賢一)、都市整備部理事(工藤雅史)、
都市整備部次長(木村敏幸)、都市整備部次長(小野泰裕)、
住宅まちづくり課長(佐々木雅信)、主幹(佐々木幸人)、
主査(棟方康晴)、主事(長内真由美)、主事(滝口貴史)

4 委嘱状交付・市長挨拶

- (1) 各委員に委嘱状交付
- (2) 市長挨拶

5 組織会

青森操車場跡地利用計画審議会条例第6条に基づき、会長に菅勝彦委員、副会長に猪原龍介委員を選任した。

6 第1回会議

(1) 青森操車場跡地利用計画審議会について

〔配布資料：資料1「青森操車場跡地利用計画審議会条例」〕

資料1に基づき、事務局より説明。

質疑等

特になし。

(2) 今後のスケジュール等について

〔配布資料：資料2「今後のスケジュール及び会議内容」〕

資料2に基づき、事務局より説明。

質疑等

菅議長	今後のスケジュールについて事務局から説明があったが、何か質問等あるか。
福士委員	第5回審議会であるが、時間的なものから考えて、議題の内容を考えると、1回の審議会で済ませられるのかという感じがした。 第3回、第4回からして、今、想定するにあたって、審議内容は1回で済ませられるのかとも思うが、第5回に関しては様々な意見が出てくるだろうと考えると、1回では済まないのではないかと感じた。
菅議長	その他にないか。
木村委員	すごくタイトなスケジュールである。これでまとめてしまうのか。 パブリックコメントを色々集めるのだろうが、どのような形で実施するか分からない人が結構いると思う。 市では市の広報に出ているという話をされるが、分からない人が多い。市の業務もサービス業だと思うので、もう少し気の利いたことを考えていかなければいけないと思う。
菅議長	その他にないか。
野澤委員	福士委員、木村委員が話したと全く同じ感じである。 低炭素型モデルタウンの経緯を見て反省するとすれば、このような審議会、そして内容的には色々、再三に渡り、何回も検討委員会をやってきているが、やはり大きいポイントの審議会、膨大な量を判断する、非常に重い内容が入っている。 それを第1回から5回においても、基本的には、市が持っている過去の経緯、それから他の情報、例えば、低炭素型モデルタウンに一旦に戻るような形と言えば語弊があるが、やはり過去において、ここにどのようなまちづくりをしたいということ、過去の市民の声もある。私は資料ではそんなに大きく逸脱しているものではないと思う。 それから例えば、防災と言っているが、市が考えている全体の防災都市という構想が分からない中で、どのような防災の一つの拠点なのかという、その辺の情報が何も無い中で語る事がなかなか面倒であろう。

	<p>もう一つ、例えば、駅舎という形ででてくるが、これも低炭素型モデルタウンの中で、検討、協議の中で大体の形と出てきているものもあるはずである。</p> <p>それから、福士委員が話していた公共利用という立場からの辺の範囲内の公共利用、それは、サービス機能としての市と行政でどのようなものが求められているかという中で語っているのかなど、いずれにしても情報があまり少なすぎる中で、低炭素型モデルタウンの進め方がおかしいという経緯もあるので、その辺はしっかりと仕事をするという意味で、我々に情報を提供していただきたい。そのようなお願いがまず一つである。</p> <p>それと木村委員が話していたように、この7、8回のパブリックコメントというものが一つのオーソライズみたいな形の形式的なものであるが、これは避けなければいけない。</p> <p>やはりそんなに焦る必要もないと思うので、私達は十分その辺も議論をして進めていかなければいけないという認識でいるので、あえて私の方から気になったところを話した。</p> <p>それとあと一つ。やはり最後、例えば、6回目の審議会の中でその他というところで、青森市新総合計画前期基本計画見直し案ということが分からない中で、先程、事務局の方から低炭素型がどうのこうのという言葉が出て、私達がいただいた資料にはそのような文言が少し載っているが、それもいきなり出るようなことのないように、やはり全員がきちんとした情報を共有して議論していきたいと思うので、議長の方から様々な情報を早めにやるような形に進めていただきたいと思う。</p>
菅議長	<p>その他にないか。</p>
櫻田委員	<p>先程の報告の中で第2回のところにあった市民の意見についてというところで、22名から29件という説明があったが、すごく少ないと思った。</p> <p>低炭素型の事業でやるときには結構関心が随分あったのではないかと思ったが、今、このように出てくると意外と市民の方では見てないのかという感じがした。</p> <p>そのようなことで第6回にパブリックコメント用に案を作っている。それは出ていく過程でやはり何らかの策、私は具体的には持っていないが、市民の方にこのようなことが今、進んでいるということ、先程、広報でやっているという話も出ていたが、あまり見てないということがある。</p> <p>そのようなことをやはり講じておいて、情報をきちんと流</p>

	<p>し、このような状況で進んでいるということも必要ではないか。22名しか意見を述べていないと聞いて少しびっくりしている。</p>
菅議長	<p>その他にないか。</p>
三浦委員	<p>二点聞きたいが、最初に一点目を先に市の方から聞いてからにしたいと思う。</p> <p>このスケジュール案、色々な厳しい意見が出されているが、この3月末までにまとめなければならない理由というのがあるのかどうか、何か縛りがかけられているのかをまず聞いてから二点目を話したいと思う。</p>
菅議長	<p>他にあるか。まず追加でも勿論良いが、今まで出てきた意見は特に公共的な扱い方について、とてもこれでは時間的に大変だろうということと全体を通じて3月末までは無理ではないかという話。</p> <p>そして今、三浦委員からは3月末で何か縛りがあるのかという話。</p> <p>それから情報が十分ではないので、情報を適宜、的確に出して欲しいという意見。</p> <p>それからパブリックコメントについて単なる形式で終わらないようなやり方をどうするのか、色々意見があった。</p> <p>それについて少し事務局の方から説明いただく。</p>
事務局	<p>最初に、今後のスケジュールについてであるが、先程、資料2に基づいて説明させていただいた。</p> <p>少し言葉足らずの部分があったかもしれないが、今後の進め方の予定ということで、会議内容のところにも予定という括弧書きで書いてあるが、今後の進め方、まずはこのようにことで案として出させていただいた。</p> <p>それについて今、意見をいただいて、例えば、先程、福士委員からは5回の審議会についてこの公共利用の観点からの議論についてはもっと回数が必要ではないかという意見があった。そのような意見については、柔軟に対応させていただいて、必要な回数、審議会を開催してやっていければと事務局としては考えている。</p> <p>後で、資料4の説明をすることになっているが、関連するので、今、少し資料4を使って話すが、資料4、A4縦の資料になるが、3ページ目を見ていただければと思う。</p> <p>中段に平成24年度、平成25年度以降ということで、検討フローを記載させていただいている。</p> <p>平成24年度末のところに見ていただければと思うが、利用</p>

	<p>計画をまとめるというフローで書かせていただいているが、一番下に注意書きがある。検討フローはあくまでも予定ということで、審議いただきたいということを考えているが、まず、一つの目安としてスケジュール案をこのように示させていただいた。</p> <p>ただ、あくまでも予定ということで、議論に応じて、先程も話した通り対応させていただきたいと考えている。</p> <p>その資料の 6 ページ目の方を見ていただければと思う、先程、新総合計画について説明が少し足りなかったという指摘をいただいた。</p> <p>資料の 6 ページに (5) とあるが、「青森市新総合計画 元気都市あおもり 市民ビジョン」ということで、まさに今回審議していただく対象地区である操車場跡地地区について、二行の文章を記載しているが、『鉄道新駅などの交通施設整備を進めるとともに、地球環境に配慮した「青い森」を象徴する 緑豊かな交流拠点 として、低炭素型の先導的な地区形成を進めます。』としている。</p> <p>こちらについて今回審議していただく内容と、今後どのように整合を図っていくか。新総合計画の方をどのようにしていくのかということについても、今回、意見をいただきたいということで、先程の第 6 回の予定のところで説明させていただいたので、補足させていただく。</p> <p>最後にパブリックコメントについて意見いただいたが、青森市には私の意見提案制度という制度、要綱に基づく制度である。こちらについては実施させていただきたいと考えている。</p> <p>その他に、市民意見を取り入れる方法としてこのような手法があるのではないかという意見があれば、是非、意見をいただきたいと考えているので、よろしく願います。</p>
菅議長	3 月末の縛りの件は。
事務局	先程、資料 4 の 3 ページ目で説明したが、利用計画については平成 24 年度にまとめるフローを示しているが、こちらあくまでも目安として示しているので、今後の議論に応じて対応させていただくことを考えている。
菅議長	日程は柔軟にということと、平成 24 年度に策定と考えたということである。
三浦委員	<p>そんなに市の問題ではないという意味に取った。</p> <p>二点目であるが、日程にも関係するが、先程、市長からこの操車場跡地は市だけではなく、県も持っているということ</p>

	<p>で、県とも連携して協議しながらやっていきたいという話があった。</p> <p>その県との連携についてこの日程、この中でどのようなことをしていくつもりなのか。</p>
菅議長	<p>県との絡みについて回答をお願いします。</p>
事務局	<p>県とは先程、市長からも話したが、土地の所有者である。</p> <p>だから、市としては連携して議論させていただきたいということで、今回、審議会の委員にはなってはいないが、この議論を我々、市として県と協議させていただくこととしていて、こちらでの議論を踏まえ、県と適宜に情報共有し、今後の進め方について議論をさせていただくということで考えている。</p> <p>県とは常に連携していく体制を引き続き取っていきたいと考えている。</p>
菅議長	<p>他に質問はないか。</p>
野澤委員	<p>やはり、すごく膨大な情報が必要だと思う中で、会長、副会長の裁量などになっていくと思うが、例えば、分科会など、何をするにも審議会の前に多少どのようなことが必要であるかどうかということが非常に心配される。</p> <p>皆さんの意見を聞いていて、今日は13名の出席であるが、大きい違和感はないと思っている、方向性に関しては。</p> <p>そうすれば、ある程度、専門分野なり何々分野で何人か、月1回のペースでいく審議会とは別に、まちの声を聞く、ひざを交えながら、少し具体的に進めるようなこと、懸念材料を払拭するということを含めてやっていった方が上手くいくのではないかと私は思っている。</p> <p>そのような進め方はどうなのかということも少し検討していただければと思う。</p>
菅議長	<p>特にこうしてほしいという話ではないので、我々が必要であれば、そのようなことも特に良いことだと思う。</p> <p>それからこの日程は、役所の人達はどのように考えるとも思ったが、この回は公園、この回は交通というように、一回一回で区切ってそれで話が進むということには恐らくならないと思う。全体のことを見ながら話をしながら、ここでは交通というようになってくることによって、今回はこうする、今回は何という話にはならないと思う。</p> <p>先程、情報が大事だと話があったが、市民の意見や市の総合計画、今までの経緯などは最初に全部情報を出してしまって、それを皆で共有した上で次の業務に入っていくのがやり</p>

	<p>やすいと思う。</p> <p>後から、市の計画はこうである、整合性はという議論は少しやりにくいと思う。だから、2 回目の審議会に、それに絡む周辺のことを全部出してしまって、それを皆で共通に理解した上で、議論というようにしていった方が良いのではないかと思う。</p> <p>他にないか。</p>
木村委員	<p>去年、作った資料なのだが、防災に関する資料で、内閣府の方で作っている資料を全部見ながら係数を色々かけていきながら、その状況に応じて何メートル建物間離さなければいけないなど、そのような具体的なことを作った。</p> <p>これを作るのにやはり時間がかかっている。そんな時間じゃできない。これは具体的な話である。</p> <p>それをずっと調べていったところで、低炭素構想が始まった時に市の防災基準が変わった。私もびっくりした。国の基準があって、青森市というのはすごくそこでゆるくなったという文章があって、そのようなこと等も含めて市の方針等も全て取り直していかなきゃいけないのではないかという気がしている。</p>
菅議長	<p>2 回目の会議が重要だと思う。</p> <p>2 回目に我々の方からお願いしたい情報をまず挙げていただいて、それを事務局で対応していただくということにしたい。</p> <p>そのような意味でまず市民の意見、これはもう既にまとまっている。</p> <p>それから今、新総合計画について少し話出たが、それにどのような位置づけになっているかということ。もう既に資料はあるが、その説明を2 回目にやっていただく。</p> <p>それからこれまでの経緯である。ものごとによっては色々と何かあるかもしれないが、とりあえずどのような流れできて、今、私達がどのような議論をしているのかということが分からないといけないので、これまでいくつか構想が出てきてみたり、基本計画が出てきてみたり、低炭素だって色々あるので、簡単な経緯のおさらいをしておきたいと思う。</p> <p>他に必要な情報があると思う。そのようなものをまず出してほしい、2 回目に。それとももう少し後の方が良いか。</p> <p>今ここで議論しているとすごく時間かかるので、どうするか。取りまとめで、例えば、事務局の方にメールを打つとか、あるいは私にメール、あるいは猪原副会長にメールを打つな</p>

	<p>どしてもらってリストを作るか。</p>
事務局	<p>では、事務局で皆さんに照会をさせていただき、それを取りまとめさせていただいて、今後の細かい内容については議長に確認させていただくということによろしいか。</p> <p>もしよろしければそのように準備させていただく。</p>
菅議長	<p>では、事務局から委員にどのようなものを出して欲しいかをアンケートして、それに対して回答を出していただき、事務局で作業いただくということによろしいか。</p>
野澤委員	<p>事務局からそれをまとめて会長の方に提示し、やり取りするというので。できたら猪原副会長も入れて、複数の方が良いと思うので。</p>
須藤委員	<p>前回は委員が集まり、様々なことを聞いた経緯があり、低炭素住宅などという問題、広報にも載り、あのようになった。</p> <p>それで新たにまたこのようなことやることになった。</p> <p>私達新しい委員が前回はどうだったのだということが全然分からなくて、ただこれでやっていくというのも何だと思う。</p> <p>はっきりしたことが分からないものだから、何も意見の出しようがないし、どのようなことになっているかということ、やはり教えてもらうことが良いのではないかと思う。</p>
菅議長	<p>低炭素についても経緯を分かりやすく説明していただいて、そのようなことを基礎に話を進めたいと思う。</p> <p>それから先程、私も話したが、第3回は防災、第4回はというこのようなまとめは恐らく無理だと思う。</p> <p>そのようなことについても、どのようにしていくかについては猪原副会長などと話をしながら、少し変えていきたいと思う。</p> <p>事務局の案は提案として勿論これはこれで結構である。そのようにしたいと思う。</p> <p>他にないか。</p>
三浦委員	<p>メンバーを見ると、一般公募の方は別として、様々な組織を持って本日何名か参加している。そのような委員は組織の委員として出ているのか。あるいはそれもそうだが、一個人としての専門家としての意見として出されるのか。その辺を確認しておきたいと思う。</p>
菅議長	<p>一応、条例で作られているので、立場についてはどのような整理になっているか、事務局としては。特別職という位置づけの話があったが。</p>
事務局	<p>条例に沿って話をさせていただくと、学識経験者の方はそれまでの知識、経験等ということでの意見、その他の公募で</p>

	ない委員の方については、関係団体の方に推薦をお願いしているの、そのような関係団体の立場ということで、事務局としては理解している。
三浦委員	それであれば、そのような方々は会議があったら、終わってからまた組織に持ちかえって、このようなことがあったと。では、次回はこのようなことなどという形になるのだろう。
菅議長	厳密に言えばそうなるかもしれない。
三浦委員	なかなかそう上手くいかない部分があるが、その辺をある程度基本を踏まえておいていただければと思う。
菅議長	<p>先程、分科会の話があったが、まだ議論が始まらないがどのような分科会が必要か、イメージができない。</p> <p>ある程度このようなことになるのかというのもある程度予想はつくので、つくるとすればこのような分科会が必要だろうということを提案いただければと思う。</p> <p>様々な要望など事務局へあったが、私達委員同士でも情報交換しておきたいと思う。私のメールアドレス、あるいは猪原副会長のメールアドレスを後で公開するので、事務局に言う話と我々同士の話は違うかもしれないので、そのようなものを使ってお互い情報交換しながらやっていければ良いかと思う。</p> <p>後ほど、私のメールアドレスを教える。皆さんも私とメールアドレス交換するという人は交換していただいて、意見を自由にやりとりしていきたいと思う。</p>

(3) 青森操車場跡地利用計画素案について

〔配布資料：資料3「青森操車場跡地利用計画素案について」〕

〔配布資料：資料4「青森操車場跡地利用計画素案」〕

資料3、4に基づき、事務局より説明。

質疑等

菅議長	<p>我々の中でこれまでの経緯やら何やら説明が欲しいという話あったが、概要については、話があって、なおかつもっと詳しくというものがあるとすれば、それは改めて事務局へ詳しい資料をお願いしたいと思う。</p> <p>そのようなことで、よろしいか。何か意見があるか。</p>
野澤委員	よくこの体の審議会や委員会で、このようにチャート的に

	<p>イメージやキーワードが出てきて、逆に非常にファジーである。</p> <p>申し訳ないが、これは審議会の批判じゃないが、どうしても、キーワードという形でいくが、やはりその前の中身の議論というものが、何があって、このようになったということが、一番大事である。</p> <p>そこを是非ともオープンにしていかなくてはいけない。恐らく私の商工会議所の立場からすれば、平成 10 年から 11 年にある程度、基本的な構想というものが出ていっている中で、10 年間は足踏みをして、いきなり出てきたのがこの 5 年間の低炭素型モデルタウンという形になってきている。</p> <p>だからその前のところで、本当に市民が盛り上がってあの跡地をどうするのかという中での、先程、櫻田委員が話したように、22 名、29 件の意見ではなく、大きな声で出た、そのようなものを大事に、もう一回反芻をしながら無駄なものを、そして今、現時点で最新情報として我々どうするのかということ議論していかなければ、形骸化するような文言の中で非常に先が見えない議論をする。それは絶対避けなくてはならないと私は思う。</p> <p>もう一度そのように必要ではないようで、実は大事なことがたくさん、話されていることを、きちんと履歴を、そしてその中で我々の今の知恵で必要ではない、更に加工するものというような進め方をしていかななくてはならないと思うので、決して、この素案の中でイメージ的にキーワードを取り込めるといことではおかしい。そこだけ私は念を押す。</p>
菅議長	他にないか。
福士委員	<p>要望になるかと思うが、これまでの経緯等を見ていると、早い段階で、交流、新駅設置、交通結節点といったキーワードが出てきて、緑の拠点というキーワードが出てきているので、できれば新駅設置っていうのはかなりメインテーマになってくると思われるので、青い森鉄道の関係者がこの場にいた方が良いのではないかと思った。</p> <p>もう一点は、緑の拠点ということでこれから議論を進めていく中で緑化計画等の専門家でランドスケーパー、そのような形の有識者等がいた方が良いのではないかと思った。</p>
菅議長	<p>いつ、そのような方を呼ぶかは、もう少し検討してみたら話をする。</p> <p>他にないか。</p>
須藤委員	今の意見と私も同じなのだが、交通結節点ということが出

	<p>てくる。</p> <p>しかし、例えば、青い森鉄道でも、青高前の駅、現在の駅といった中で立地上の問題だとか、あるいは交通需要、人口の動向等を関連して、そのようなことを本当に考えなければいけない。私達素人は全く分からない。そのような意味で今、福士委員が話したように、やはり青い森鉄道の方から、直接一度は話を聞く機会を私は設けてもらいたいと思っている。</p>
菅議長	他にないか。
木村委員	<p>今の意見に追加なのだが、県有地はすごく気になる。</p> <p>市が持っている土地より大きいのに県と意見を調整していきながらという話はされているが、例えば、ここでの議論が、提案が出たとしても、県がだめという意見であるということに削られてしまったりという結果にはなってはいけないうし、やはりかなりの割合で県の土地もあるので、県の人もないと話進んでいかないのではないかと。どうか。</p>
菅議長	県人はきつくだらうという気はする。
木村委員	そこをクリアしていかないと。
菅議長	<p>恐らく県は、私の感じとしては、これは青森市の土地、市内ある土地だから、私達がある程度構想をつくとそれに今回だめと言うことはないのではないかと気はする。</p> <p>だから、おおよそ我々がもし作ったとすれば、それはかなり尊重されるのではないかと気はする。</p> <p>もし、我々が作ったものに県がだめとことになると、これは大問題になってしまうので、そのほとんどがだめということはない。一部はあるが、そんなことではないかと思う。</p> <p>ただ、一度委員としてではなくとも、話を聞くという機会はあった方がよい。</p> <p>他にないか。</p>
野澤委員	<p>非常に大事なことだと思う。特にこの5年間の低炭素型のモデルタウン構想においては、そして新駅の考えに関しては県と市は歩調を合わせてやってきている。</p> <p>その中で今、我々中心の審議会でどうのこうのとなった時には、やはり一番の一等地であっても県の所有地でもある。そこはやはり県都の顔として、青森市のこの有効利用という形の跡地を我々の考える、それは県民のため、県の所有地を有効活用し、なおかつ青森市としての活用しようという位置づけで我々は望むべきスタンスである限り、決して県の方で内容がおかしい、非常に譲れない限りはNOということはないと思う。</p>

	<p>その辺は十分、我々、例えば商工会議所の立場で一番そのようなことを同時並行的に進んでいただきたいということは、配慮はお願いしたいと思うし、我々委員はそれを意識してかかっていかななくてはいけない。</p> <p>だからこそ、膨大な仕事と膨大な情報の中でこの議論を進めていかななくてはいけないと思っているし、慎重なおかつスピーディーに。是非、市の方は県の方と上手く連携してよろしくお願いしたい。会長の方でまとめて是非進めていただきたいと思う。</p>
菅議長	<p>整理すると、平成 9 年に青森操車場跡地利用構想というのでできている。ここに一回戻るとのことだと思う。これをベースにして一回素案、事務局でつくった素案だが、そのようなもの出てきている。</p> <p>大体そのような構図であるので、まずこの平成 9 年につくった利用構想をもう一回全部出してもらおう。</p> <p>それから低炭素についてももう一回、皆さん中身を確認するのか。するのであれば、これも一回出してもらった方が良い。他にないか。</p>
種市委員	<p>先程、皆さんが話したように私も反対派ではない。</p> <p>少し私はこれ（資料）を見たが、ん？と思った。</p> <p>この跡地を利用するのは分かるが、今までずっと見てきたら、都市計画も終わっている。それから市役所の庁舎の問題も全然これには入っていない。もう終わったのだから、あとは残ったものについての利用計画ということで、なんでもっと早くやらなかったのかと思った。</p> <p>みんな決まって、残ったものであとやりなさいというような感じはする。</p> <p>だから、跡地を利用するにあたっては、庁舎をどうするか、都市計画をどうするか、青森駅の駅舎どうするかと全部含めてやらないと問題解決につながらないと思う。</p> <p>だからもう一回そのような話し合いをしても良いのかどうかということを知りたい。</p> <p>もうそれは決まったということでは話にならない。庁舎のことは話にならない。基本計画も話にならない。あとは残ったもので話し合いをなささい。低炭素も同じ。もう終わったのだから。</p> <p>だから、その辺もっともっと早くこのような委員会で調整してほしかったと私は思っている。</p>
菅議長	<p>基本的には大体このような審議会というのはよく、野澤委</p>

	<p>員も話したが、事務局の方で大体作ってきて、それを審議会 で、オーソライズするというパターンが多い。</p> <p>今回も素案は出ているが、ただ、私達のスタンスとしては、 出てきた素案について多少議論して、まあいいだろうという ためにあるのではなく、やはりもっと広く、もっと自由に議 論して良いと思う。そのようなスタンスでない。</p> <p>それこそ、素案についてただイエス、ノーということにな ってしまうので。</p> <p>それから市民の意見の中には、今、話されたような庁舎の 件もあったようである。だから、資料は市民の意見 29 件、そ れから 100 人委員会、それも全部出してもらおう。</p> <p>それを皆で見ながら議論する。</p>
--	---

(4) 会議概要について

[配布資料：資料 5 「会議概要の作成について」]

資料 5 に基づき、事務局より説明。

質疑等

特になし。

7 閉会

次回会議は、会長と事務局が相談の上、10月を目処に開催することとし、閉会。

閉会后、青森操車場跡地の現場見学を実施。